

地元大学との連携により、地域の農産資源を活用した新商品の開発、機能性の解析を積極的に進め、全国に向けた販路の拡大に取り組んでいる。

農業生産法人 有限会社 十津川農場

経営革新計画のテーマ：ねじめびわ茶の新商品開発と販路拡大

<会社概要>

所在地 肝属郡南大隅町根占横別府 487-1
資本金 600万円
設立年 平成11年
従業員 25名（パート含む）
電話 0994-24-5531
URL <http://www.totsukawa.co.jp/>
経営革新計画の承認日：平成17年4月15日

○ 新事業にチャレンジしようとしたきっかけは？

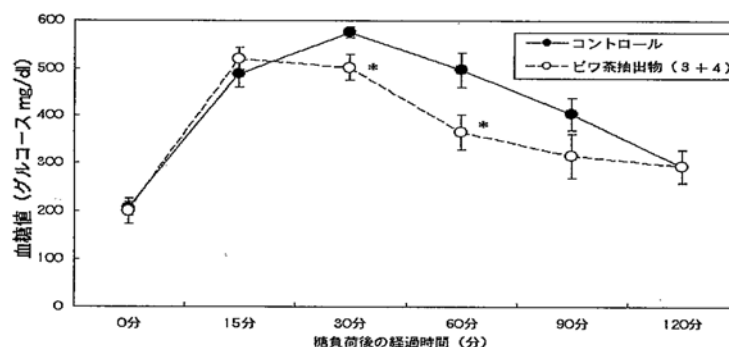
びわ葉は古来より漢方や民間療法で用いられており、さまざまな効能が伝えられています。鹿児島県は全国有数のびわの産地であることから、従来は活用されていなかったびわ葉を商品化することで地域振興に貢献できないかとの発想から、「ねじめびわ茶」を開発し、その生産と販売を始めました。

当社の「ねじめびわ茶」は、鹿児島県産のびわ葉を原料とし、独自の製法（製造設備に関しては特許あり—特許第 3452351 号）で製造しています。そのためミネラル分を多く含む、飲み口もまろやかで美味しいノンカフェイン・無添加の健康茶に仕上がっています。

また、平成16年からは国立大学法人鹿児島大学と共同でねじめびわ茶の機能性解析にも取り組んでいます。下のグラフはその実験結果の一例で、通常の餌と、びわ茶の抽出物を加えた餌で飼育したマウスにそれぞれブドウ糖を投与し、血糖値を経時測定したものです。びわ茶抽出物を与えたマウスは30分後には血糖値が低下し、その後も速やかに血糖値が下降していることが分かります。このような研究結果から、「ねじめびわ茶」は消費者の健康増進に貢献できる可能性のある有用な資源であるとの確信を深めるようになり、消費者がいつでもどこでも気軽に摂取できる利便性の良いびわ茶の新商品を開発することにしました。



ティーバッグタイプの「ねじめびわ茶 24」



糖尿病モデルマウスによるブドウ糖負荷試験の結果

○ 新事業はどのような内容ですか。

これまではティーバッグと茶葉で商品を提供し、お客様に急須又はやかんで煮出してもらってから飲んでいただいていたのですが、鹿児島大学との共同研究で、びわ茶に抗高脂血症作用、高血圧抑制作用、癌細胞増殖抑制作用、高血糖降下作用、抗酸化作用などの機能性があることが確認できたことから、新たにびわ茶抽出物を加工したサプリメント製品（錠剤タイプ）やびわ茶のペットボトルタイプの商品も開発し、全国で販売していこうというものです。

○ 経営革新支援制度を利用したきっかけは？

平成 11 年に「ねじめびわ茶」の製造を始めましたが、販売は鹿児島県下を中心に行っていました。全国に向けての販路開拓や鹿児島大学とのさらなる機能性研究の必要性を検討していたところ、取引のあった政府系金融機関から経営革新支援制度の活用を勧められました。

○ 承認を受けて良かったことは？

経営革新計画の承認申請にあたり、これまで構想してきた新商品開発にかかる期間やそれに必要な研究、販路開拓の戦略など、改めて事業実施計画の詳細な見直しと確認を行う機会が得られました。県の担当者から計画内容についての具体的なアドバイスを受けることもできました。

また、県の「平成 17 年度中小企業経営革新補助金」の補助事業に採択され、びわ茶成分の機能性解析に係る鹿児島大学との共同研究をさらに進展させることができたほか、研究成果などをアピールするための販促ツール（プロモーション用DVDなど）を作成できました。

○ 今後の事業展開について教えてください。

「ねじめびわ茶」の販売を始めてから 7 年が経過し、現在では多くの方々から問い合わせがあるほか、様々なメディアでも取り上げていただけるようになりました。また、鹿児島大学と進めてきた、ダイエットや健康増進に係る機能性の研究成果については、共同特許（「びわ茶抽出物を含有する飲食品及び医薬品」）を国内外で出願したところです。

今年度は、アトピーやアレルギー抑制効果の機能性解析に係る当社と鹿児島大学との共同研究が、かごしま産業支援センターの「研究開発助成事業」に採択されたところです。

今後は、消費者のニーズに沿った、さらに摂取しやすい形状（顆粒やパウダー等）への加工技術の開発に取り組むほか、原料確保のため奄美大島やトカラ列島からのびわ葉の調達ルートの開拓、売上拡大の状況に応じた設備投資など、量産体制の整備も進める予定です。

このような取り組みを通じて、当社は、びわ茶のパイオニア企業として、鹿児島県の特産品であるびわ茶の全国的な認知度向上や地域農業の振興、消費者の生活向上に貢献します。



びわ茶抽出物のサプリメント



新たに商品化したペットボトル商品



農場の風景